



# 八月(大)葉月箕宿

八月八日立秋の節より  
月命壬申五黄土星の月  
暗剣殺 なし

旧七月小  
旧八月大

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出大	月出大	満潮	干潮
1日	木	かのえうま	六白	●朔二時一分、八朔、水の日、大宮氷川神社例祭、大つち、三隣亡、一粒万倍日、糺封、諏訪お舟祭、旧七月小	朔	先勝	とづ	角	●	4.48	18.46	4.30	18.37
2日	金	かのとひつじ	五黄	八戸三社祭、青森ねぶた祭(7日迄)、宇佐神宮夏越大祭(4日迄)、鬼貫忌	二	友引	たつ	亢	大みょう	4.49	18.45	5.42	19.01
3日	土	みづのえさる	四緑	秋田竿燈(6日迄)、多賀大社萬燈祭、不成就日	三	先負	のぞく	氏	神よし	4.50	18.44	6.54	20.29
4日	日	みづのとり	三碧	京都北野天満宮例祭、久留米祭、桑名石取祭、一粒万倍日	四	佛滅	みつ	房	神よし	4.51	18.43	8.06	21.07
5日	月	きのえいぬ	二黒	山形花笠祭(7日迄)	五	大安	たいら	心	月とく	4.51	18.42	9.16	21.42
6日	火	きのと	一白	広島平和記念日、仙台七夕(8日迄)、東京佃祭(7日迄)	六	赤口	さだん	尾	どう日	4.52	18.41	10.24	22.16
7日	水	ひのえ	九紫	鼻の日、木曾御嶽御神火祭、旧七夕	七	先勝	とる	箕	きこ	4.53	18.40	11.30	22.51
8日	木	ひのとうし	八白	立秋四時一分、上弦二時三十分、下関忌宮敷方庭祭(7日、13日)	八	友引	とる	斗	●	4.54	18.39	12.35	23.27
9日	金	つちのえとら	七赤	長崎原爆の日、宝塚中山寺夏会式、新湯祭(11日迄)、小つち	九	先負	やぶる	牛	●	4.55	18.38	13.38	24.22
10日	土	つちのと	六白	館山安房神社祭、西鶴忌	十	佛滅	あやぶ	女	神よし	4.55	18.37	14.39	25.07
11日	日	かのえたつ	五黄	●山の日、高知よさこい祭(9日、12日)、末伏、不成就日	十一	大安	なる	虚	天おん	4.56	18.36	15.36	26.00
12日	月	かのと	四緑	振替休日、徳島阿波踊り(15日迄)	十二	赤口	おさん	危	天おん	4.57	18.35	16.29	26.53
13日	火	みづのえとら	三碧	月遅れ盆迎え火	十三	先勝	ひらく	室	百事吉	4.58	18.34	17.17	27.46
14日	水	みづのえとら	二黒	奈良春日大社万灯籠	十四	友引	とづ	壁	天おん	4.59	18.33	18.00	28.39

一年を通じて、一番暑さを感じるのはこの月である。寝苦しい夜が続き、寝不足になりがちで涼をとるため窓を開けて寝冷えをしたり、暑さのために疲労が蓄積したりし、とくに健康を損ないがちな月である。幼児、熱中症には注意が必要。  
 【婚】この月に挙式をする人は少ない。それはさておき、わが国の結婚は普通仲人がいるものである。  
 仲人の由来と役割を簡単に説明しておこう。仲人は結婚の媒酌人のことで、古くは、結婚の意向を伝える使者として「古事記」「日本書紀」の中にも出てくる。単なる使者から次第に重大な任務を帯びてくるのは、配偶者を求める地域がだんだん広範囲に及んだ、仲介者の必要度がたかまつた結果であろう。仲人親といった夫婦の振り親視する言葉もあるくらいである。  
 仲人役を引き受けたら、

15日	木	きのえさる	一白	○望二二時二分、月遅れ盆、旧ぼん、終戦記念日、全国戦没者追悼式、東京富岡八幡宮祭、十方ぐれ入り	十五	先負	たつ	奎	大みょう	4.59	18.31	18.37	23.22
16日	金	きのと	九紫	月遅れ盆送り火、京都・箱根大文字、松島灯籠流し、三嶋大社祭	十六	佛滅	のぞく	婁	十し	5.00	18.30	19.11	24.15
17日	土	ひのえいぬ	八白	鶴岡荘内大祭、滋賀建部夏祭	十七	大安	みつ	胃	母倉	5.01	18.29	20.10	25.08
18日	日	ひのと	七赤	千葉だらだら祭(16日、22日)、伝教大師誕生会、三隣亡	十八	赤口	たいら	昂	大みょう	5.02	18.28	20.10	25.08
19日	月	つちのえとら	六白	秋田花輪ばやし、一粒万倍日、不成就日	十九	先勝	さだん	畢	●	5.02	18.27	20.38	26.00
20日	火	つちのとうし	五黄	鎌倉市鎌倉宮祭	廿	友引	とる	觜	●	5.03	18.25	21.06	26.53
21日	水	かのえとら	四緑		廿一	先負	やぶる	参	ぶく日	5.04	18.24	21.35	27.46
22日	木	かのと	三碧		廿二	佛滅	あやぶ	井	神よし	5.05	18.23	22.06	28.39
23日	金	みづのえとら	二黒	如暑一九時二分、一遍上人忌、下弦二時五十分	廿三	大安	なる	鬼	百事吉	5.06	18.22	22.41	29.32
24日	土	みづのと	一白	旧地蔵ぼん、秩父四萬部寺大施食会	廿四	赤口	おさん	柳	大くわ	5.06	18.20	23.21	30.25
25日	日	きのえうま	九紫	東京亀戸天神祭	廿五	先勝	ひらく	星	神よし	5.07	18.19	24.14	31.18
26日	月	きのとひつじ	八白	富士吉田火祭	廿六	友引	とづ	張	大みょう	5.08	18.18	25.07	32.11
27日	火	ひのえさる	七赤	神奈川大山阿夫利神社秋季大祭、愛知一色大提灯、不成就日	廿七	先負	たつ	翼	大みょう	5.09	18.16	26.00	33.04
28日	水	ひのと	六白		廿八	佛滅	のぞく	軫	十し	5.09	18.15	27.00	34.00
29日	木	つちのえいぬ	五黄		廿九	大安	みつ	角	母倉	5.10	18.14	28.00	35.00
30日	金	つちのと	四緑	●朔一九時三十分、旧八朔、三隣亡	朔	友引	たいら	亢	ちう日	5.11	18.12	29.00	36.00
31日	土	かのえ	三碧	二日灸、一粒万倍日、不成就日	二	先負	さだん	氏	ぶく日	5.12	18.11	30.00	37.00

婚前婚後を通じて、若い二人の介添人としての自覚と責任を持つべきである。  
 【葬】七月に述べた「お盆」の行事は、月遅れの八月十五日に行うところや、旧暦七月十五日に行うところが意外と多い。  
 【祭】七月に続いて各地で夏祭りが繰り広げられる。青森ねぶた祭り、東京富岡八幡宮の祭り、京都東山の大文字、徳島の阿波踊りなどが有名である。  
 この月の六日と九日は、広島、長崎の原爆記念の日である。灼熱の閃光が走ったと同時に市街地は焼け野原になり、数十万人の人が命を落とす負傷した。人類として忘れられない日である。  
 広島・長崎を原点として推進されてきた原水爆禁止運動は、現在では核廃絶運動として世界各国にまで浸透した。  
 十一日は「山の日」。山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日である。(平成二十八年施行)  
 十五日は「終戦記念日」。二度と戦争の悲惨を繰り返さないよう、各自の胸に銘記しよう。